

E70 meeting 20221129

参加者

永江、七村、原田、江端、高橋

報告・議論

現場について

- BFT
 - gain調整をしている
 - Low efficiency channelがなくなるよう、InputDACを調整している。
- AFT
 - AFT本体のassemblyを始めました
 - 全体遮光のコールドランを今の時点で実物を見ながらやっておく
 - ファイバー固定（オプティカルセメント、ボンド）の練習をしておく
 - AFT 架台板を発注しました
 - 12/16 納品予定
- SDC in
 - SDC2
 - ケーブル配線をほぼ完了した
 - HVケーブル、ガスラインが未配線？
 - KURAMA時代よりも上流チェンバーのHVチャンネルが増えた。これによりHVモジュールのチャンネルが不足。K1.1用？に保管していたものを山本さんから借りることになった。そのうち返す必要あり。
 - **FINUDAで使っていたHVモジュールが使えるかもしれない**
 - 必要な電圧、電流、型番等をまとめてFelicielloさんにask
- SDC out
 - efficiencyの低いチャンネルがある
 - ケーブル、ASD等のコンディションを変えるごとにefficiencyの低いチャンネルが変わるので、原因追求が難しい
 - 引き続きチェックを進める
- TOF
 - BH2同様、セグメント間のMean Time outのタイミングを揃えています
- WC
 - 12セグメントのうち、3セグメントがアンインストール中
 - コーキングが甘くて、水もれしていた→コーキングしなおし、水漏れないことを確認した
 - カビが生えているセグメント→clean upしてタイベックシートを貼り直し、コーキングまでして、水漏れないことを確認した
 - 別のカビセグメント→clean upしてタイベックシートを貼り直しているところ
 - 今後のカビへの対応方針
 - カビの影響、繁殖具合についてはしばらく経過観察する
 - カビが問題ない場合は、そのまま使い続ける（E70 beamtimeまでは）
 - ただし、S-2S WCはS-2S実験でこれからもずっと使い続けるものなので、E70以降のどこかのタイミングで新しいものに総入れ替えするか、全

clean upをした方がいいのではないかという意見も。

- 今 **clean up** した2セグメントが、あるタイムスケールで残り9セグメントと同じ状況になる可能性もゼロではない
- つまり、総入れ替えしてもあまり意味がない可能性もある
- なので、**clean up** した2セグメントの経過観察を続けてから考えるのが良さそう
- カビ等の要因で光量が減った場合
 - Vthを下げる → 陽子が混ざってくる
 - (K-, K+) ならトリガーレートの陽子が混ざろうがそんなに苦しくない
 - また、イベントIDとしてはofflineでTOFで切れるのでこれも問題ない
 - (pi, K) の場合は、トリガーレートを圧迫する可能性はある。シミュレーション必要。
- 高橋くん出張予定
 - 11/29-12/1
 - 12/19-21
 - P3本実験
 - 第一候補：12/14-17
- 後神さん出張予定
 - 12/21~23 (26~年末は現場の様子を見る)

その他

- 江端修論
 - 理想的な位置に検出器を配置したGeantのシミュレーションデータを元に学習した機械学習くんが、実際に実験室に置かれたDetector (現実的には理想的な検出器位置と異なるはず) で測定できる位置情報を使ったとしても正しい運動量を算出できるのか、どの程度正確に算出できるのか、現実のDetector位置が理想的な検出器位置からずれているとどの程度分解能悪化に影響するのか、を調べる
 - Focal plane位置のVDを回転させると、分解能・中心値が悪化することがわかった
- 福島研究会
 - 高橋くん発表
 - 12/8 16:00に発表練習
 - 京都での練習部屋は後神さんが予約
- 福島研究会、田村会旅行伺い
 - 福島研究会は、宿泊予約は不必要 (後神さんが手配してくださっている)
 - 個人でやるべきことは、
 - 全旅程を決め、旅行ルート、交通費の試算をしておく
 - 仙台宿を確保

予定

- 12/6：テントアンカーうち
- 12/8, 9：エアコン設置
- 12/8 16:00~：高橋くん発表練習、daily mtg、E70 mtg
- 12/13：GeフレームをK1.8近くまで持ってくる

- 12/20 : FIFC@KEKつくば